



第3058回 例会

2025. 5. 8

会長あいさつ



2024-2025年度 門崎 由幸会長

週報 No.2287

発行 2025年 5月15日

2024-2025年度

会長 門崎 由幸

幹事 齋藤 哲雄

副会長 坂本 忠光

副幹事 大木 崇寛

編集責任者・公共イメージ向上委員会

委員長 丹井 亮一

ゲスト

上尾市 こども健康保健課

公認心理師 / 臨床心理士

ヤングケアラーコーディネーター

ひかり 福田 景 様

諏訪 峻之 様

塚原 昌代 様

2024・2025 学年度

ロータリー米山記念奨学生

オウ ギョウユ 王 曉瑜さん

行事予定

5月22日 原田会員 齋藤哲雄会員
「上尾市議会活動について」

5月28日 (水) 18:30点鐘
(※日時・例会場変更)
ダナン病院訪日歓迎会
ダナン整形外科
リハビリテーション病院
リハビリセンター
藤村病院スタッフ数名

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。
ゴールデンウィークはいかがお過ごしでしたでしょうか。私はほぼ
休みなく動いていて、時間が空いた時に孫と遊びました。本日の例会
主題では子ども支援について卓話を聞かせていただくのですが、私も
孫と遊んでいた中で、子どもの相手はたいへんだなと感じました。う
ちの孫は4歳と2歳でいちばん手のかかる年齢で、お母さん1人で対
応するのは大変で、頼る人がいなければ精神的に病んでしまう方もい
るのかなと思います。本日はさまざまな支援をお聞きできればと思い
ますので、よろしくお願いいたします。

少し気になったニュースをご紹介します。アメリカ・トランプ大統領
が5月8日を第二次世界大戦の戦勝記念日に制定するという布告に
署名をしました。5月8日は第二次世界大戦で連合国がドイツの無条
件降伏を受けた日です。その3カ月後、日本に原爆が投下されるまで
戦争は続きましたが、日本との戦いには触れずにいるとのことですが、
今年戦後80年ということで、今後、戦争についてや報道があるのか
なと思いますが、日本側も「こうしなければいけない」という形をし
っかり作っていかねばいけないと思っています。

また5月8日は「世界赤十字デー」で、第1回ノーベル平和賞を受
賞した、赤十字の創始者であるアンリー・デュナンさんの誕生日にち
なんているそうです。なかなか知られていない部分もありますので、
覚えていただきなんらかの行動を起こしていただければと思います。

もう1つ気になったニュースです。GWが明け、人のために動くの
が面倒くさいとのことで、GW明けの新入社員の退職が急増している
そうです。しかも退職代行に250件超の依頼があったそうです。毎年
のことのようですが、今年は前年度より138%増えているそうです。
退職理由の1位が「仕事にやりがいがない」、次は「ハラスメン
トを含めた人間関係」だということです。若い子はコミュニケーション
能力に欠けているのかなと思いますが、時代のせいにもせず、今の時
代の仕組み等をしっかり我々の世代が作っていかねばならないの
かなと思います。本日の会長あいさつにさせていただきます。本日も
よろしくお願いいたします。

幹事報告

齋藤 哲雄 幹事

◇5月のロータリーレート

は1ドル＝142円です。

◇5月からはクールビズ、

ノーネクタイになります。

◇5月20日(火)、地区

クラブリーダーシップラ

ーニングセミナーが戸田市文化会館で開催されます。

対象者の方はご出席をお願いします。

◇5月26日(月)、第5グループ新旧合同会長・幹

事会並びに懇話会が上尾東武ホテル3Fコミュニテ

ィホールで開催されます。

◇上尾市観光協会より、5月24日(日)に上尾駅西

口モンシェリー周辺で開催される「第2回上尾串

ようざフェス」の案内と100円券が届いています。



委員長報告

ロータリー財団委員会 長沼 大策委員長

本日、門崎会長より1,000ドルのご寄付をいた
だき、お蔭様で年次基金(会員1人あたり200ドル)
の目標額を達成できました。ご寄付いただいた皆さ
ま、ありがとうございます。

米山記念奨学金委員会 深澤 圭司委員長

本日、齋藤博重会員より10万円のご寄付をいた
だきました。米山奨学会
への寄付はまだ目標額の
半分です。引き続きご寄
付をお願いいたします。



ロータリー米山記念奨学金授与

ロータリー米山記念奨学生 王曉瑜(オウ・ギョウユ)さん



今年度になり、木曜日は4限目と5限目の授業が
あり、18:30頃まで大学にいますので夜間例会への出
席は難しくなりました。お昼の例会に出席できるよ
う調整して、なるべく出席いたします。

私は猫を飼っているのですが、GW中、病気にな
ってしまい、動物病院の費用がかさんでしまいました
。本日は奨学金をいただきありがとうございます。
これからもよろしくお願いいたします。

例会主題

地域に必要な子ども支援とは

上尾市 こども未来部こども家庭保健課 諏訪峻之様

こども家庭保健課の概要

まずは上尾市こども家
庭保健課では虐待対応、
ヤングケアラー、ひきこ
もり、子育てについて、
の相談を受け付けていま
す。家庭についての相談



で難しいと感じるところが、家族の役割は環境によ
って異なる点です。たとえば二宮金次郎のように薪
を背負って勉強している子の姿を見た場合、「家族
のために頑張ってえらい」と思うか、「勉強に集中
させてあげたい」と思うか、「友達と遊ばずかわい
そう」と思うか、見る人によって感じ方はそれぞれ
異なります。各家庭ごとの方針もありますし、さま
ざまな考え方がありますので、そこを否定するわけ
ではなく、ただお子さんの最低限の権利が守られる
よう、行政では何ができるかを考えながら支援をし
ています。

虐待のイメージですが、父親が子どもを殴ってい
た際、父親側は「本人のために教育している」「昔
は際のが普通だった」「こどもの接し方がわから
ない」など、考え方や背景は人によって異なります
。それでは児童虐待はなぜ起きるのかというと、
さまざまな要因があります。「親の状況」では被虐
待歴(親も虐待されて育った)、アルコール・薬物
・ギャンブルなどの依存、精神疾患・精神障害など
が挙げられ、「こどもの状況」では育てにくい(未
熟児・障がい児・手がかかる)、望まない子などが
挙げられ、「家庭の状況」では地域で孤立している、
失業・貧困、下の子の誕生などが挙げられます。
そして解決方法も人によって異なります。お子さん

が学校に行かなくなった場合、
背中を押した方がいいのか、
あるいは無理をさせないよう
に見守った方がいいのか、正
解はなく、難しいところに
なります。

このような状況を聞きなが
ら支援をしているのですが、
支援の方法として「保護者へ
の支援」では、保護者が孤立
しないよう子育ての相談にの
ったり、福祉サービス(障害
サービス、生活保護など)に
つなげます。「こども・若者への支援」では、居場
所の提供を行ったり、「周囲による見守り」では学校
・民生委員・地域による見守りを行ったりしてい
ます。相談の流れとしては「問題の発見」→「状
況の調査・把握」→「支援方針を立てる」→「支援
を行う」→「状況安定後の見守り」となります。

ただ行政側の弱いところは、最初の「発見」と最
後の「見守り」についてで、私たちは市内の子ど
もたち全員と接しているわけではないので、何か事件
が起これば状況を把握することができるとは、
まだ事件が起きる前に未然に問題を発見することは
難しいです。また状況が安定した後の見守りでは、
お子さんの人生はまだまだずっと長く続いていくも
のなので、私たちの支援が終わった後に、また新た
な問題が起きていないか、ずっと安定しているのか
を見続けるというのも難しいと感じています。その
あたりは地域の皆さまのご協力をお願いしている
ところなんです。続きまして具体的な取り組みにつ
いては福田からご紹介させていただきます。

上尾市 こども未来部こども家庭保健課 福田 景様

上尾市の実際の取り組み

私はヤングケアラーコ
ーディネーターと心理相
談員を兼任しています。

資格として公認心理師と
臨床心理士を持っていま
す。私たちの課の名前は

変遷があります。2014年、最初に「子ども・若者相
談センター」という名称で始まりました。上尾市に
初めて心理士が入った年になります。子育ての悩み、



- ・子育ての悩み、児童虐待相談
- ・自立に向けて悩みを抱える子ども・若者の相談
- ・最初期は心理士一名で対応
- ・妊娠期から子育て期の相談、児童虐待相談
- ・引きこもりなどの30歳代までの若者に関する相談
- ・子ども家庭支援員および虐待対応専門員として、社会福祉士、保健師、精神保健福祉士と心理相談員として心理士が対応
- 2023年6月上尾ロータリークラブ 創立60周年記念事業
- 2024年6月 法の上で定義
- ・子ども家庭総合支援センターと健康増進課の母子保健部門が一体化

児童虐待相談や、自立に向けて悩みを抱える子ども
・若者の相談をしていました。当時、心理士は1名
で対応していました。2021年に「子ども家庭総合
支援センター」に変わりました。母子分野の連携を、よ
り強固なものにするために、妊娠期から子育て期間
の相談も始めました。この年から心理相談員が2名
に増え、3名に増え、と変わってきました。私は一
昨年からヤングケアラーコーディネーターを拝命し
ていて、実態調査を行ったのは2022年9月で、2023
年4月にヤングケアラー支援を開始しました。ちょ
うどその2023年6月には、上尾ロータリークラブ様
に、創立60周年記念事業で、ヤングケアラーにつ
いての講演を行っていただき、ありがとうございます
。上尾の条例が作られたのは2023年7月で、本当
にタイムリーな企画だったなと思っています。6月
です。上尾はヤングケアラー関連についてかなり
力を入れて推進している市であると知っていただ
けると嬉しいなと思います。これは全国的にも先駆け
で、多くの自治体から視察が来るほどで、誇れるこ
とであり、少しだけ手前ミソですが、ヤングケア
ラーコーディネーターに臨床心理士の資格をあわせ
て持っているのは全国的にとっても珍しいことにな
っています。教員をあがられた方や、社会福祉士がな
っていることが多いかと思いますが。そして2025年
、課の名称が「こども家庭保健課」に変わりました
。どうぞよろしくお願いいたします。健康増進課だ
った東保健センターが、子ども家庭総合支援セン
ターと健康増進課の母子保健部門が一体化になり、こ
どもの課に移行されて、より妊娠期から、子育て支援
に関する家族まで支えられるような課に変わったの

ではないかなと思います。ご興味がある方は上尾市
のホームページをご覧ください。

私はヤングケアラーコーディネーター、心理相談
員として、子育て相談や、引きこもりの方など、若
者当事者からの相談も聞いています。またケアラー
コーディネーターとしては、個別の対応のほかに、
福祉サービスを紹介したり、学校に講演に行ったり
しています。私がすべてを解決するわけではなく、
個々の相談内容ごとに、より得意な人に、私が架け
橋になるとか、支援者の輪をつくることも仕事の
一つになっています。

市役所との連携ですが、図としてはヤングケア
ラーのつながりになっていくのですが、未成年の方
との関わりはこれから始まっていくことが多いか
なと思います。先ほど私たちの弱点である「気づき」
が挙げられ、すべての子どもたちを見張っているわ
けではないので、やはり難しい部分があります。こ
ういったところは、周囲の観察や、ご本人からの相談
もあります。去年度はヤングケアラーアンケートを
小学校4年生以上の子どもたちに行いまして、小学
生本人から「相談したい」という声もいくつか挙
がり、学校訪問なども行っています。「見守り」は、
継続していくところなのですが、大きなことをす
ればすぐに解決するということはありません。継続
的に熟成した苦しみがありますので、そこをやわ
らげていくのは日常的な小さな積み重ねになります
。それは周囲の人、先生、近所の人たちが見守っ
てくれるのが、心強い支援かなと思っています。

今日のテーマとして、ロータリークラブの皆さま
ができることって何だろう、ヒントになればいい
なと思って、相談に来られる方がどういう方なの
かお伝えしたいと思います。「今、助けてほしい」「
何か方法がないか知りたい」と困難をかかえ解決
したいと思っている人が10.0%ではないんですね。こ

こまで深刻な方はピラミッドで示すと上の方の一部
で、人数はそれほど多くいません。そこまで深刻
ではないけれど相談した人というの中には「似た状
況にある人と話したい」「自分の気持ちを話したい」、
そもそも「気分転換をしたい」というニーズもあ
ります。なのでロータリークラブの皆さまがもしご
協力いただけるのであれば、いろいろなことができ
ます。物質的な支援だけが支援ではないということ
も知っていただけたらうれしいです。

県や市で行っている事業や、委託している事業
など、たとえば「こどもショートステイ」「子育て
世帯訪問支援事業」「居場所事業」「ブックスタート」
「こども食堂」「フードパントリー」「学習支援」
などが挙げられます。ブックスタートのような文化
的な支援も重要だと思います。他の自治体では、啓
発映画とコンサートを抱き合わせたり、進路やキャ
リア相談、言葉の部分では通訳の派遣などもあり
ます。

今、唯一無二の正解はありませんので、「こうい
ったものもあるのでは」というさまざまなアイ
デアがありましたら、ぜひ私にも教えてくださいま
すとありがたいです。いざ支援をしようと思った
ときの心掛けではちょっと難しい面もあるかな
と日々感じていますので、NHK for Schoolという
ショート動画があり参考になりますので、必要
でしたら資料をお渡しいたします。とても駆け足
になってしまいましたがご清聴いただきありが
とうございました。



スマイル

こども家庭保健課の皆さま
卓話いただきありがとうございました。

門崎会長／齋藤哲雄幹事／坂本副会長／大木崇寛副幹事／
大塚信郎会長／尾花会員／大塚崇行会員／齋藤博重会員／
深澤会員／久保田会員／関口和夫会員／藤村会員／宇多村会員／
長沼会員／関口良康会員／山崎会員／木田会員／原田会員

出席率	
会員数	33
出席免除	3
出席対象者	30
出席者数	18
60.00%	

例会日 毎週木曜日12:30～13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303

例会場 上尾東武ホテル3F(コミュニティホール) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799

